

心ふれあい SA吹田通信 第85号

発行 SA吹田事務局 〒564-0004 吹田市原町3丁目7番2号 TEL/FAX06-6388-3380
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.htm>

第12回吹田ボランティア・フェスティバル

田原 美佐穂（19期）

今年で第12回を迎えたボランティアフェスティバルが5月29日（土）前夜祭、30日（日）フェスティバル本番で吹田市役所の駐車場で開かれました。

30日（日）は晴天に恵まれボランティア、活動グループによるおもちゃづくり、展示、体験コーナーやバザール併せて50余りのブースが並び、朝から親子づれなどでどのブースも賑わっていました。スタンプラリーもあり、ならば私も景品をゲットと挑戦しましたが、なかなか進まなく途中で諦めました。

ステージではジャズ演奏、手話コーラス、歌体操、マジックなどが日ごろの成果を発表していました。

エコおもちゃづくり市民塾

スタッフの方たちが徹夜をして準備をし

たと言う“木っ端流木人形メモリークリップ”がすごい人気で親子で喜々として作っていました。

SA吹田（おもちゃづくり）

このコーナーでは自分で色を塗って組立てる“ぶんぶんごま”やジャバラの“起き上がりこぼし”の作成にこどもたちで一杯でした。ぶんぶんごまは、子どもには一寸難しいかなと見ているとなんと子どもたちの器用さに感心しました。

歌体操介護予防市民塾

ステージでの歌体操は“吹田市民の歌”“きよしのソーラン節”“六甲おろし”の3曲でしたが“六甲おろし”の歌体操が始まるとステージ前に多くの人が集まり歌と踊りに興じていました。



初めての高齢者疑似体験講習

中西佐和子(高大1期)

高大を22年3月に卒業し4月にSA吹田に入会。何もかもが初体験、福祉授業のため6月11日第三中学校一年生の生徒たちと社会福祉協議会スタッフ3名、SA吹田10名内新人3名が、緊張しながら先輩の方がたとともに体育館にて高齢者疑似体験の手伝いをしました。子供たちはまだあどけなくワンパク盛りで初めは興味本位の処もありましたが二人ペアで装具を着けていくと真剣になり足が重い曲がらないと不安そう。白内障のメガネをかけて見えづらい、

若いので足は少し上がるが腕は曲がらずお茶なども飲めない、終わると不安なのか急いではずしてしていました。“怖かった”“重かった”“自由にならない”などの声があり。今は元気盛りの生徒さんですが、今日の体験から身近で元気なお年寄りも高齢者になり、またまわりの身体の不自由な方たちに対して、優しさといたわりの心を持ち成長して行くと信じています。私もこれから高齢者疑似体験学習に出来るだけ参加したいと思います。



認知症の研修会に参加

歌体操介護予防市民塾
井口 とみ子 (20期)

市民塾も2年目をむかえ今年のもあります介護に関し専門の方のお話を聞くという第1回目の催しとして弘済院職員の長谷川美智子氏をお招きしての”認知症について”の研修会。さすが皆さん関心が高く塾生と一般の方を合わせ50名余りの参加でした。日々認知症の方と接しておられる講師の体験を通して実例を交えながらのお話から認知症は今まで獲得した知的能力が持続できなくなり、社会的に支障をきたす病気である。高齢だからと云ってなるわけではないがやはり早期発見、早期治療が大切で有ること、その人その人に表れる症状は千差万別、でも周りの者の理解と接し方により症状を軽減出来ると云う事をパワーポイントで詳しく説明頂

き認知症について正しく理解する事が出来ました。ボランティアで介護施設へ寄せてもらっていますが、その方との距離がグーンと狭まった思いです。研修会の後半グループワークと云う事でもし貴女が認知症になったら①何処で暮らしたいか②どんな事をしてもらいたいか③今元気である自分には何が出来るか〜。この3点について全員が意見をだしグループ発表となりましたが、ここで自分自身に置き換え今は元気だけどこれからどの様に過ごしていくか又なにをすべきか自分を描くヒントになった様に思います。有意義な研修会でした。



中国天津大学との交流

黒川 玲子（18期）

交流日程は4月16日～26日（船中2泊）学生との交流は5日間、日本語専攻の学生1,2年生対象。観光ではなく交流が目的。内容は公演、日本語授業で企業人の心構えとビジネスマナーetc。

固い授業ばかりでなく、楽器演奏、腹話術マジック、コーラス、などがあり、中でも腹話術はバカ受けでした。最終日には手巻きすしやいなりすしを作りました。日本からすしの素や、海苔、稲荷のあげを持参し、

手巻きの材料のきゅうり、卵、ウインナーとご飯は現地調達をしました。日本食文化の紹介ということで、私たちが作って現地の学生に試食をしてもらうつもりが、珍しくて、美味しいと多くの学生が参加してすぐに足りなくなり、追加さわぎとなりました。リラックスした雰囲気学生たちが子どもにかえった様で可愛かったです。“来年もやりましょうね”と言われたが果たして来年行くことができるのかどうか？楽しい交流でした。



日中語学研修・文化交流会

永井俊雄（17期）

今年で5回目の交流。天津市・天津職業大学の日本語学科の生徒たちとの交流と授業を中心に行われた。生徒たちは上級生になると日本語の読み書きは出来るが会話そのものは日本人とは初めてとすることで、交流は私たち一人ひとりが大勢の生徒に囲まれてスタート。会話攻め、質問攻めで日本の日常生活、ファッション、アニメ、音楽、流行の日本食すしなどなど。会話に馴れてくると日本企業への就職や留学情報の話題となった。

一方、当方で用意した授業、日本語の朗読、寸劇、俳句の作り方、慣用句の解説から折り紙まで連日盛り沢山。更にコーラス、マジック、腹話術、夜は宿舎で日本から持参した着物一式の着付け教室、最後のパーティでは手巻きすしの実演、試食といずれも好評でした。今回も過密な日程、連日の慣れない中国食で大変な面もありました。それでも参加した皆さん頑張りました。そして熱心な生徒たちとしっかり交流できた喜びは大きく充実した十二日間の旅でした。

役員会の議事録の抜粋

1 本年度参加会員数の報告

現在確定の会員総計145名であるが、新規入会希望者が4名あるので、SA吹田通信85号と同時に再度会員名簿を配布する。最終会員数は149名である

2 市外会員へのSA吹田通信配達方法

吹田市外会員への通信の配達を郵送にする。現在は関係者に適宜配布して頂いているが、規約上市域限定が削除されており、情報伝達の促進を図るためである。

3 福祉関連派遣事業支給額増額

現在、福祉派遣グループ登録は31件

であるが、積極的にこの制度を利用して、ボランティア活動を拡げて欲しい。本年度は支給単価200円を250円に上げ、現在は無償ボランティアのみの適用を有償ボランティアにも拡げ支給したい。

4 SA連協報告

本年度のSA連協は“行動する連協”でありたい。歌体操のブロック活動は、昨年大いに成果があったので、今年度はおもちゃ部会でもブロック活動に重点を置き努力したい。

SA吹田 活動予定				
SA吹田全般	日時	内容	担当	場所
7月9日(金)	1000~1200	SA吹田役員会	総務	吹田勤労者会館
7月19日(月)	1000~1200	歌体操部会	加藤昌子	吹田勤労者会館2F
7月31日(土)	900~1200	印刷/ブロック長部会	広報/ブロック長	亥の子谷コミュニティセンター
おもちゃづくり		内容	担当	場所
7月10日(土)	1000~1200	おもちゃづくり市民塾	小北月子	北千里公民館
7月22, 23日	1400~1600	夏休みのおもちゃづくり	小北月子	竹見台児童センター
7月29日(木)	1330~1530	夏休み木端細工	小川忠夫	山田第2公民館
福祉関係		内容	担当	場所
7月8日(木)	12:45~	車椅子体験	三好桂子	吹田第3中学校
高齢者ケア		内容	担当	場所
7月10日(土)	1400~1500	歌体操	加藤昌子	グループホーム「たんぽぽ」
7月16日(金)	1400~1500	歌体操	加藤昌子	弘済院第2特養
7月28日(水)	1400~1500	歌体操	船田弘子	スローライフ千里
市民塾関係		内容	担当	場所
7月6, 20日(火)	1000~1200	歌体操介護予防市民塾	橋本一江	総合福祉会館
7月6, 20日(火)	1000~1200	エコ工作市民塾	小川忠夫	SAハウス

■ 編集後記 ■

うっとうしい天気がつづきますが、みなさん元気に活動してください。

編集担当 熊田